

応募までの流れ

STEP 1

応募カテゴリを選ぶ

カテゴリ 1: 小学生・中学生の部
カテゴリ 2: 家族の部
カテゴリ 3: フリースタイルの部
カテゴリ 4: プロ / セミプロの部

STEP 2

応募要項をよく読む

※ 申し込み用紙をダウンロードしてみる
※ カテゴリによって締切日が異なるので注意

STEP 3

Fabble の使い方を覚える
テーマに沿って作品制作

STEP 4

Fabble に
作品とプロセスをアップ

STEP 5

応募フォームに必要な事項
申し込み用紙データ添付
送信して応募完了!

応募に関する共通条件

- (1) 応募作品は、「3D プリンタのみ」で制作したものに限定させていただきます。ただし 3D プリンタの機種やメーカー、方式、材料は基本的に問いません。詳細については各カテゴリによって若干の指定がありますので、公式 WEB サイトをよくご確認ください。
- (2) 作品の著作権は応募者に帰属します。また、すでに発表された作品等でも構いませんが、過去に受賞歴のある作品は応募不可とします。
- (3) カテゴリ 1 を除き、応募作品の提出には、慶應義塾大学で運用している制作日誌共有システム Fabble (<http://fabble.cc>) を使い、作品のみならず、そのつくりかた、3D データ、写真、映像等の「レシピ」を公開していただきます。Fabble の使用方法については、ファブ 3D コンテスト特設サイト内にガイダンスとして「Fabble の使い方」を掲載しています。

最優秀賞 (すべてのカテゴリを総合して全体で最もすぐれた作品)

1 点 10 万円分の賞金+副賞 (詳細未定)

優秀賞 (各カテゴリにおける最もすぐれた作品)

1 点ずつ 5 万円分の賞金+副賞 (詳細未定)

佳作 (2 次審査に残った作品、各カテゴリ数点ずつ)

1 万円分の賞金+副賞 (詳細未定)

応募期間:

2016 年 8 月 1 日 ~ 10 月 31 日

2 次審査および授賞式: 2016 年 11 月 19 日 (土)
慶應義塾大学 SFC オープンリサーチフォーラムにて実施
会場: 六本木ミッドタウン

カテゴリ 1. 小学生・中学生の部「3D プリンターで自由研究」(事前申し込み 9 月 10 日)

カテゴリ 2. 家族の部「家族が喜ぶ 3D プリンタ活用法」

カテゴリ 3. フリースタイルの部「3D プリンターで○○をやってみた!!!」

カテゴリ 4. プロ/セミプロの部「3D プリントエッグパッケージ」

※各カテゴリそれぞれ応募条件 / 申し込み時期が異なります。

※応募ルールの詳細は、WEB サイトをご参照ください

主催: 慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアム
「3D データ活用人材育成」ワーキンググループ
お問い合わせ: fab3d-contest@sfc.keio.ac.jp

詳細に関しては WEB サイトをご覧ください

<http://www.fab3d.org>

慶應義塾大学ファブ地球社会コンソーシアム「3D データ活用人材育成」ワーキンググループ

当コンソーシアムは、デジタルファブリケーション技術が浸透する社会における、働き方の変化、ライフスタイルの変化、価値観の変化を捉え、文化と産業の新しいかたちを検討する集まりです。特に「3D データ活用人材育成」ワーキンググループでは、デジタルファブリケーション技術のうち、特に発展が著しい、3D プリンタ、3D サービス関連事業者のコンソーシアム参加を募集しています。3D プリンタにまつわるさまざまな情報をコンソーシアム会員から集約し、整理して一般に発信するために、3D 文化と産業の発展を促進する目的で、本ポータルサイト (<http://www.fab3d.org/>) を構築しています。